

「いじめ」のない学校と社会を



岸本市議は、子どもや、教員、教育制度など、どこが問題なのかを充分に分析し、その問題解決に向けて、大津市が国に発信することを強く求めました。

これまで、日本は国連子どもの権利委員会から「日本の過度な競争教育が子どもにストレスを押しつけ、登校拒否やひきこもり、暴力、自殺につながっている」と指摘されてきました。

岸本市議は、いじめ問題について、度々文科省などに出向き、マスコミを通じ、持論を展開していますが、多方面からパフォーマンスは慎むべきと指摘されています。

子どもたちからは、「文化祭や体育祭など、生徒主体の仲間づくりができる取り組みを増やしてほしい」との声があがっています。

越市長は、いじめ問題について、度々文科省などに出向き、マスコミを通じ、持論を展開していますが、多方面からパフォーマンスは慎むべきと指摘されています。

このような中で、全国学力テストについて、越市長が、「学校ごとの成績公開と学校選択制を活用するべき」とマスコミに公言。

学校現場からは「競争を低年齢化させ、子どもたちにさらに負担を押しつけるだけ」と指摘されており、富田教育長も岸本市議の質問に公開を否定。

マスコミへのパフォーマンスより
いじめの起らない環境づくりを



こんにちは

岸本のり子です

発行 日本共産党
大津湖西地区委員会
連絡先 日本共産党大津市会議員
岸本のり子
大津市和邇春日2丁目
ケイタイ 080331163877

2013・10/5
No. 127

日本共産党

お年寄りや、障がいがあっても
自由に買い物や通院できる
まちづくりを

岸本市議は今議会においても、「志賀北部の駅にエレベーターの設置を」、「住民有志が無償で行っている自家用車による送迎活動に補助金の創設を」強く求めました。

エレベーター設置実現!!

「志賀北部の駅にエレベーターの設置」について
市は

「高島市のように、本来事業者（JR）が負担する経費を大津市が負担することも検討し、何とか一駅は実現したい。地域の関係者のみなさんと協議の場を設けたい」と答弁。

JR湖西線がおもな移動手段であることや、高齢化など、蓬萊以北の住民にとっては重大な問題です。切実な願いを込めた署名や、運動が市政を動かしています。

全駅にエレベーターが
設置できるようさらに運
動を広げましょう。



しかし現状ではエレベーター設置が見込まれるのは一か所の駅です。

岸本市議は「残る4駅周辺の地域住民の「足」の確保のためにも、住民有志（NPO足の会）が無償で行っている自家用車による送迎活動に補助金を創設すべき」と迫りました。

市は

「タクシー会社との連携で、試行運転を行い、実績を見たらうえて、どこに補助金が必要なのか検討したい」と答弁。

岸本市議はさらに現在、大津市の公共交通対策を審議している協議会に、志賀のNPOなど既存の活動団体を参加させることを求めました。

ウラに続きます

一般質問続き

産業廃棄物の不法投棄の撤去を

和邇インターの周辺には過去からの産業廃棄物が残されており、現在はその上に大量の残土が搬入されております。

岸本市議は現状把握と今後の対応について質問。

市は、「滋賀県において一定の措置がなされたものとして引き継いだ」と答弁しましたが、和邇中地先について、平成19年当時、大津市が是正されていない大規模な不処分場として議会に説明していたことを指摘し、再度早急に対応するよう求めました。

一般質問終わり

ご意見、ご要望などぜひお寄せください

みなさま、さきの台風18号での影響は如何でしたか。

比較的災害の少ない琵琶湖畔に移り住んで15年になりますがこのような雨や風の激しさにあったのは初めてです。

党議員団も各地の被害状況の把握等に努めています。

お困りのことがありましたらご連絡ください。

大津市会議員 岸本のり子

北小松滝川の写真です。

橋に流木がひっかかり氾濫です。

別荘など在宅されてない家は庭に泥がたまっただまとなつています。



ゆずりますコーナー

読者の方から「良ければ使ってください」と申し出がありました。

写真上は布団乾燥機・テレビ台・ホームこたつです。下は折りたたみベッドです。

写真の他にも、スチール製スリッパラック、老人用手押し車2台申し出をいただいております。

連絡先は 谷なおみ(Tel・Fax594-0190)まで

詩や俳句・短歌・絵手紙などの投稿も歓迎！



春日住宅街に最終処分場？！

住民に計画を明らかにすべき

前号でお知らせした、民間業者による残土処分場を阻止する対案として、和邇春日のメイン通りの北側の青地(志賀町時代に最終処分場予定地として町が購入)を大津市の一般廃棄物最終処分場として、受け入れてはどうかという案が和邇学区の自治連合会より提案されています。

民間の残土処分場か公的な最終処分場か？

住んでいる地域や職業などによって、リスクは大きく異なるうえに、いったん引き受けると、今後70年以上にわたる事業となります。

自治連合会からの提案を耳にした住民の方からは、行政が建設する処分場なら安心と言えるのか？ 本当に、民間事業者の計画はストップできるのかなど、様々な疑問や要望が岸本市議に届けられています。

こうした声に応えて、岸本市議は、各方面に、十分な説明を行うよう求めています。